

1st day
AM

第4会場 ● 4F 大研修室

■司 会／樓園 成人 鹿児島県始良市教育委員会 社会教育指導員
上野 知彦 福岡県教育庁北筑後教育事務所 主任社会教育主事

分科会の進め方

10:45~10:50

1 村民みんなで創る「とうほうテレビ」

10:50~11:20

梶原 京子（福岡県東峰村） とうほうテレビ 住民ディレクター

2010年、福岡県東峰村にケーブルテレビが開局した。「とうほうテレビ」は、「東峰にゆーす：20分」と「村民ひろば：40分」を合わせて1時間番組を毎週村民の協力を得て制作し、村のほぼ全世帯で視聴できる東峰村ケーブルテレビである。ケーブルテレビでは、自主番組の企画から編集までをすべて行う「住民ディレクター」をICT人材として育成している。

自主番組は、「村民の生活を楽しく豊かにする番組づくり」を目指し、住民の暮らしに直結した福祉・医療・介護、生涯教育などの行政情報と村の歴史や文化を紹介する地域情報で構成されている。日常の生活を伝え合うこととお互いの暮らしを知り、いざというときの救助、減災、防災にも大いに役立つとして集落等からの番組づくりを積極的にすすめている。特に、合併前の旧宝珠山村と旧小石原村の各集落の交流をはかるため、積極的に地域情報の発信を行っている。とうほうテレビは、村民スタッフの活躍を通して、広く全国、海外を見通した村民の新しい人生を開拓したことが話題となり、NHKで地域ドラマが制作されるまでになった。開局以来まもなく丸6年、ケーブルテレビが村を変え始めた実感がある。

2 大山ガガガ学校 ～アートで蘇る旧分校と地域のか～

11:25~11:55

大下 志穂（鳥取県大山町） こっちの大山研究所 代表

大山町長田集落にある廃校となった長田分校の活動拠点に、集落への移住者が中心となり、子どものためのアートの学校を企画。「大山ガガガ学校」と名付け、地元住民の協力のもと、平成27年度に活動を開始。実施は、「鳥取県子ども文化芸術体験支援事業」の助成を受け、オブジェ、踊り、アニメーション、デザイン、音楽、自然体験まで含め、多様な分野で芸術的視点を取り入れた自由度の高い授業を展開している。講師には、全国で活躍しているアーティストを招き、町外からの参加者も多く、地域内外の交流が活発になり、地元自治会も旧分校の保存と活用に動き始めている。アートの力は地域に新しい力を生み出している。

3 歴史を学び、景観を守り、まちづくりにつなげる

12:00~12:30

田中 聡（鹿児島県鹿屋市） 鹿屋市教育委員会 高須地区生涯学習センター 館長

高須町および浜田町では、センターと町内会が協力して、郷土の歴史や人物を学び、戦跡や遺跡を辿る「まちあるき発見塾in高須・浜田」（年8回）という市民講座を開設した。また、「永遠の0」の主人公にスポットを当てた戦跡巡り、大隅線開設100周年記念行事、孫に語る「私たちの戦争体験と昭和の時代」などのプログラムを実施した。一連の活動は、「かごしま・人・まち・デザイン賞」の景観づくり部門で奨励賞を受賞。バスツアーも講座の参加者も増加し、来訪者には、高須町内会婦人部の皆さんがおもてなしをするなど、住民活動が活性化し、自信と誇りが生まれている。